

大学生の活用①

【取組の概要】

- 近隣の大学に対し、部活動指導員を募集している。
- 学生の部活動指導員の応募に当たっては、大学の推薦を求めている。
- 市教育委員会が選考を実施。(論文、面接)
- 選考を経て、市教育委員会の人材バンクに登録され、市教委が実施する配置前の研修を受講する。
- 部活動指導員としては、中学校の配置希望に合致した場合に、中学校へ配置される。

●部活動指導員活用事例

学校種 : 中学校

部活動名 : ラグビー部

活動時間 : 平日4日、土日1日

●選考条件

週当たり、運動部3日以上・文化部2日以上の勤務を条件に募集

大学生の活用②

【取組の概要】

- 近隣の大学と連携し、大学生を部活動の外部指導者(※)の人材バンク等への登録を呼びかけ。
- 各学校が人材バンク等から指導者の紹介を受け、面接を行う。
- 大学生と学校の条件が合致した場合、外部指導者として配置。
- 外部指導者等部活動指導経験を有する応募者の中から、市教委が選考し、部活動指導員として任用し、各学校に配置。

※外部指導者: 教員顧問の技術指導を補助する学校協力者

●当該自治体における部活動指導員の年齢構成

(運動部)

20代 …56%

30代 …8%

40代 …5%

50代 …7%

60代以上…22%

外部指導者の確保事例

地元企業との連携

【概要】

- ・部活動支援に賛同する民間企業や大学を募集し、部活動人材の紹介や物品の提供等の支援を受けている。
- ・企業等から紹介を受けた人材を、市が外部指導者として任用し、中学校に配置している。
- ・職務内容としては、技術指導を主とし、部活動顧問の補助を担っている。

●外部指導者活用事例

学校種 : 中学校

部活動名 : バスケットボール部

活動時間 : 平日3日・土日1日(土日が中心)

※競技経験のある企業の社員(実業団等の選手ではない)

人材バンクの活用

【概要】

- ・地域のスポーツ協会が、資格を有無に関わらず、広くスポーツ指導者(教室講師、スタジオインストラクター、民間チームの監督やコーチ、現役のアスリート、スポーツ少年団の関係者、医療関係者、教職員OB)が登録できる人材バンクを設立。
- ・登録した指導者に対し、地域のスポーツ協会が研修カリキュラムなどを実施。
- ・学校からの依頼を受け、人材バンクから、地域のスポーツ協会が人材を派遣。